

6月定例議会 町政報告

令和6年第4回小坂町議会が6月13日から9日までの会期で開かれ、条例改正・補正予算等22議案が可決されました。町政報告の要旨をお伝えします。

町政報告要旨

▼十和田湖観光振興センターのオープンについて

十和田湖和井内地区に整備している十和田湖観光振興センターについて、令和6年10月10日にオープニングセレモニーを予定しています。

▼観光客の入り込み状況について

今年4月27日から5月6日までのゴールデンウィーク期間は、桜の開花が例年に比べて大幅に早かったことから周辺の桜名所を巡る広域の人流が少なく、町内観光施設ではだいぶ苦戦したように感じられます。

主要観光施設では、康楽館が

昨年5月11日の町議会全員協議会において、当初のオープン予定である令和5年秋から大幅に遅れる旨を報告しましたが、その後、文化庁に対する事務手続きが終わり、令和5年12月15日に駐車場などの工事を再開することができました。既に展示及び厨房などの内部工事は終了しており、現在は駐車場整備工事などの外部工事を急ピッチで行っているところです。十和田湖観光振興センターは、秋田県側の観光拠点になると考えてい

るので、町としても滞在型観光や十和田湖西湖畔の活性化に資するよう観光宣伝を図ります。

康楽館への教育旅行の入館状況は、昨年度99校、8,340

人の実績に対して、現在までの実績と予約を含めて、55校、

6,700人を見込んでいます。

利用校数、人数とも減少する見込みであることから、来期以降に向けて学校や関係機関と連絡を密にしながら、旅行代理店に対する営業強化を図る必要があると考えています。

今後、広域観光連携やイベントの開催、デジタルツールを活用したPRなど、町としても切れない観光宣伝・誘客促進事業を展開して、地域の活性化を図っていきます。

▼地域おこし協力隊員の任用について

小坂町に居住して新たな視点や発想により、地域力を向上させ地域コミュニティの維持・活

性を図り、楽しく生活できる地域をつくることを目的に、ブドウ農家への就農や移住・定住

コーデイネーターとして活動してもらえ

る地域おこし協力隊員を、平成28年度から募集を

続けてきました。

今年3月、デジタルスキルを活かしたまちづくりサポーターに1名の応募があり、6月1日付けで地域おこし協力隊員として「猪野直子」さんを任用

しました。

活動内容は、デジタルスキルを活かしたまちづくりサポーターとして、移住希望者の相談対応、移住体験機会の企画立案、町の情報発信や移住者の受入サポートなど、移住定住全般について、総務課企画財政班に勤務して活動します。

▼アカシアまつりについて

6月10日と11日の2日間に

わたり、39回目となるアカシアまつりが中央公園で開催されました。2日間とも好天に恵まれ、町内外の多くの来場者から楽しんでいただいたものと思

います。

アカシアまつりのイベントは、地元小・中学校、高等学校の児童・生徒による演奏や舞のほかに、秋田県警音楽隊やポータルユニットによるコンサート、相撲甚句などの多彩なステージイベントがまつりを盛り上げました。恒例のお楽しみ露店やキッチンカーによる出店、こども縁日をはじめ観光施設を巡る「スタンプラリー」に加え、自衛隊や警察署、消防署など各関係機関によるPR出展などが実施され、多くの来場者に喜んで

らう、大盛況だったと思

います。